

2021年3月期第1四半期 決算説明会

住

Infrastructure

2020年7月31日
株式会社トプコン
代表取締役社長 平野 聡

医

Healthcare

食

Agriculture



会社紹介
ビデオ

2021年3月期第1四半期 決算説明会

I. 2021年3月期第1四半期 決算報告

II. 2021年3月期 通期見通し

III. トピック

IV. まとめ

V. 参考資料

I . 2021年3月期第1四半期 決算報告

I-1. 2021年3月期第1四半期 決算報告

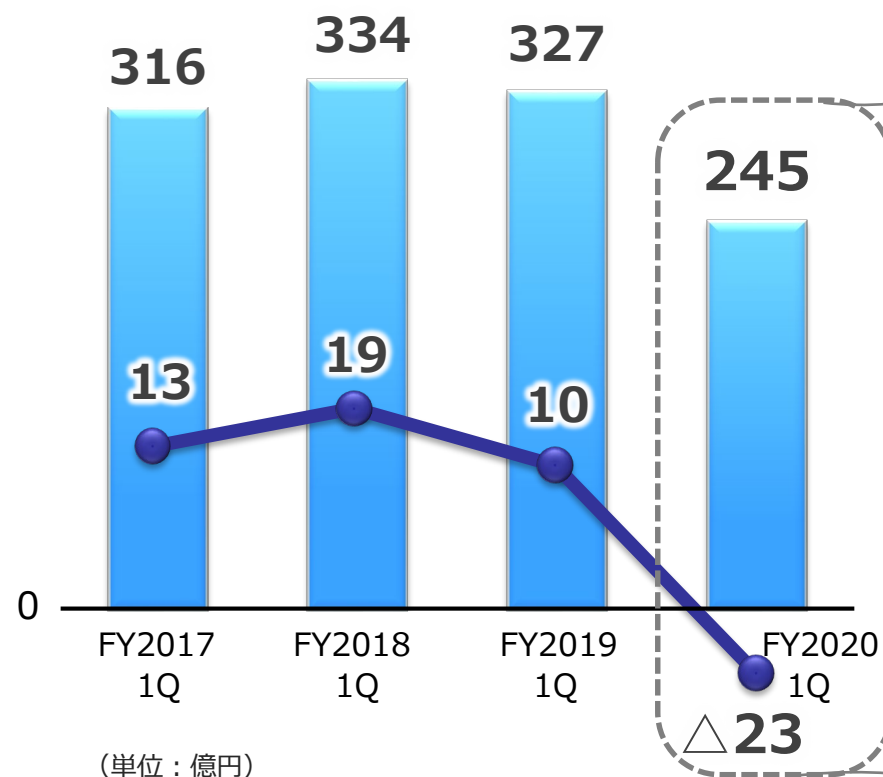
I-2. 事業別の状況

FY2020 1Q決算概要

■ 1Q減収減益も月別売上・損益とも回復基調

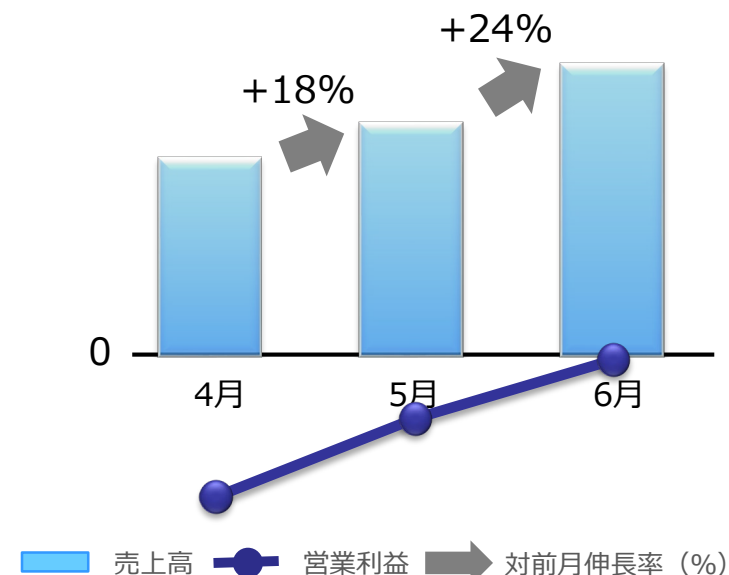
ロックダウンの影響は甚大

影響額： 売上高 $\Delta 90$ 億円
営業利益 $\Delta 40$ 億円



月別ブレイクダウン

- ・ 4月をボトムに売上伸長
- ・ 販管費16%削減
- ・ 6月単月ではブレイクイーブン



FY2020 1Q実績

(単位：百万円)

	FY2019	FY2020		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	前年同期比%
売上高	32,747	24,493	△8,254	△25%
売上総利益 (売上総利益率)	17,692 (54.0%)	11,680 (47.7%)	△6,011	
販管費	16,682	14,003	△2,678	16%削減
営業利益 (営業利益率)	1,009 (3.1%)	△2,322 (△9.5%)	△3,332	-
営業外損益	△442	△721	△277	
経常利益	567	△3,043	△3,610	-
特別損益	△562	△31	530	
税引前利益	4	△3,074	△3,079	
四半期純利益	△375	△2,482	△2,106	-
為替 換算レート (期中平均)	USD EUR	110.00 円 123.29 円	107.74 円 118.94 円	△2.26 円 △4.35 円

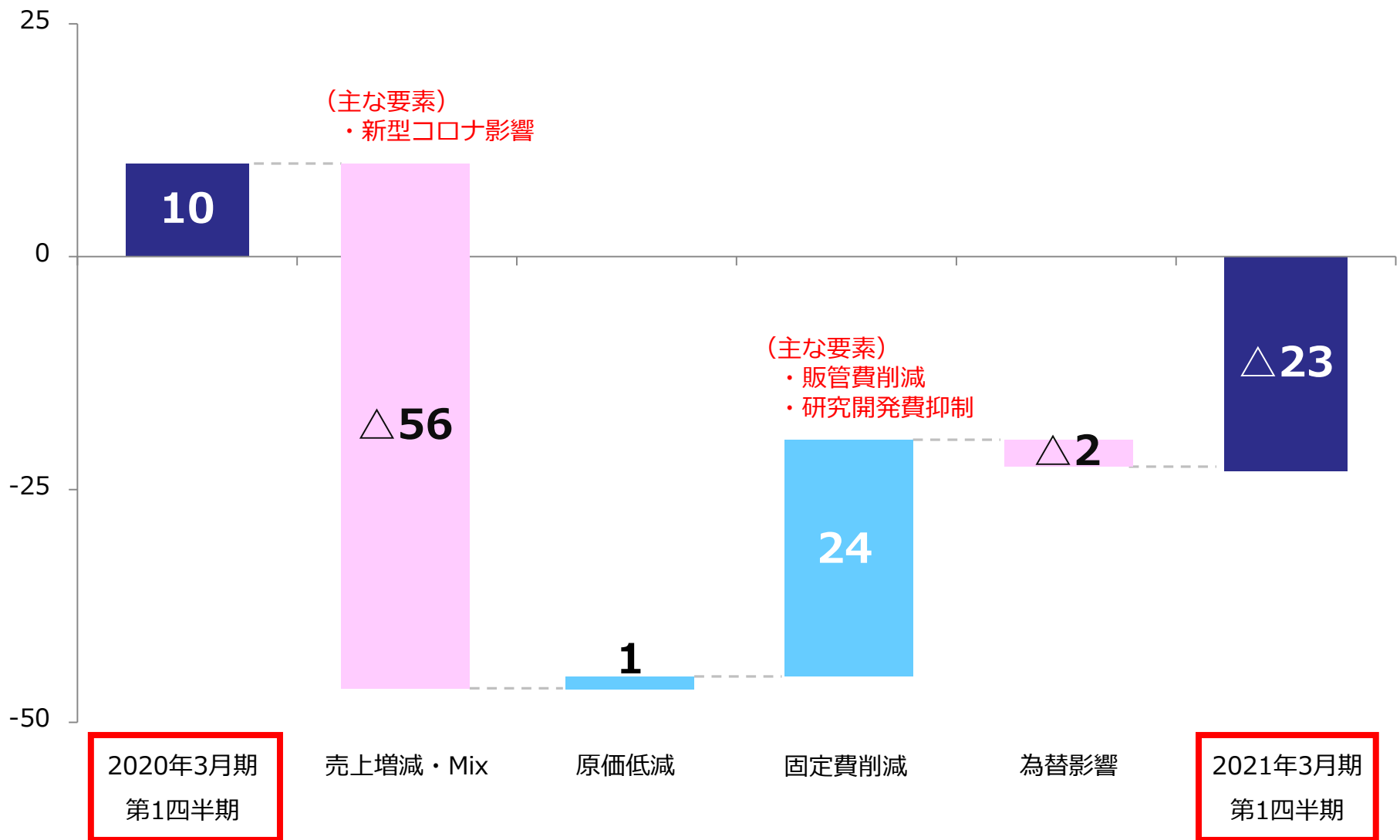
FY2020 1Q事業別実績

(単位：百万円)

		FY2019	FY2020		
		1Q実績	1Q実績	前年同期比	前年同期比%
売上高	ポジショニング	18,188	14,416	△3,771	△21%
	スマートインフラ	7,043	6,331	△712	△10%
	アイケア	10,321	6,343	△3,978	△39%
	その他	316	229	△88	△27%
	消去	△3,121	△2,827	294	
	合計	32,747	24,493	△8,254	△25%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	1,203 (6.6%)	553 (3.8%)	△650	△54%
	スマートインフラ	797 (11.3%)	235 (3.7%)	△561	△71%
	アイケア	114 (1.1%)	△1,904 (△30.0%)	△2,018	-
	その他	△47 (△15.2%)	△138 (△60.2%)	△90	-
	調整	△1,057	△1,069	△12	
	合計	1,009 (3.1%)	△2,322 (△9.5%)	△3,332	-

FY2020 1Q増減益分析（営業利益ベース:前年同期比）

（単位：億円）



I . 2021年3月期第1四半期 決算報告

I-1. 2021年3月期第1四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

(単位：百万円)

	FY2019	FY2020		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	%
売上高	18,188	14,416	△3,771	△21%
営業利益 (営業利益率)	1,203 (6.6%)	553 (3.8%)	△650	△54%
為替 換算レート (期中平均)	USD 110.00 円	107.74 円	△2.26 円	
	EUR 123.29 円	118.94 円	△4.35 円	

1Q業績要因分析

・全般

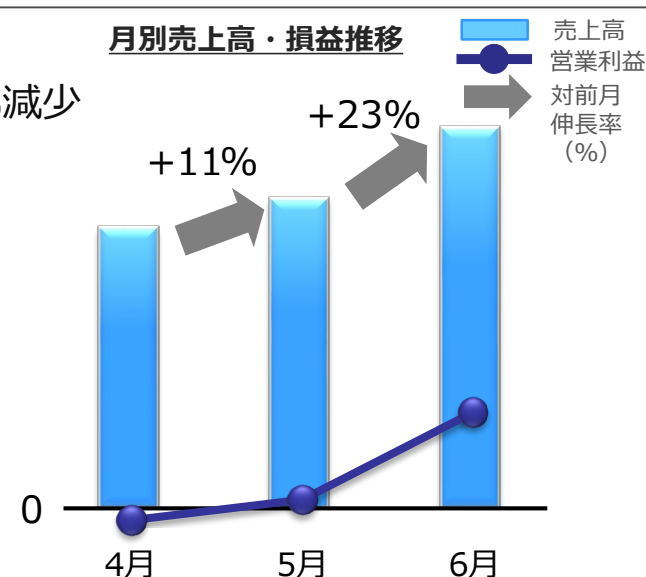
- 主力欧米市場がロックダウンの影響で売上高は前年比21%減少も販管費削減注力とあわせ営業黒字を確保
- 建設・農業ともEssential Businessゆえ4月をボトムに5月、6月は売上回復
- 月次損益は5月に黒字化、6月は更に回復

・ICT自動化施工

- OEM：顧客の販売低迷に基づく在庫調整

・IT農業

新型コロナ影響は限定的、6月単月は前年並みに回復



(単位：百万円)

	FY2019	FY2020		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	%
売上高	7,043	6,331	△712	△10%
営業利益 (営業利益率)	797 (11.3%)	235 (3.7%)	△561	△71%
為替 換算レート (期中平均)	USD 110.00 円	107.74 円	△2.26 円	
	EUR 123.29 円	118.94 円	△4.35 円	

1Q業績要因分析

全般

- 主力の国内市場は緊急事態宣言の影響は受けるも、建設・農業ともEssential Business ゆえ前年比10%減と善戦、営業黒字確保
- 緊急事態宣言解除後、5月、6月と売上高は順調に回復、月次損益は5月に黒字化、6月黒字継続

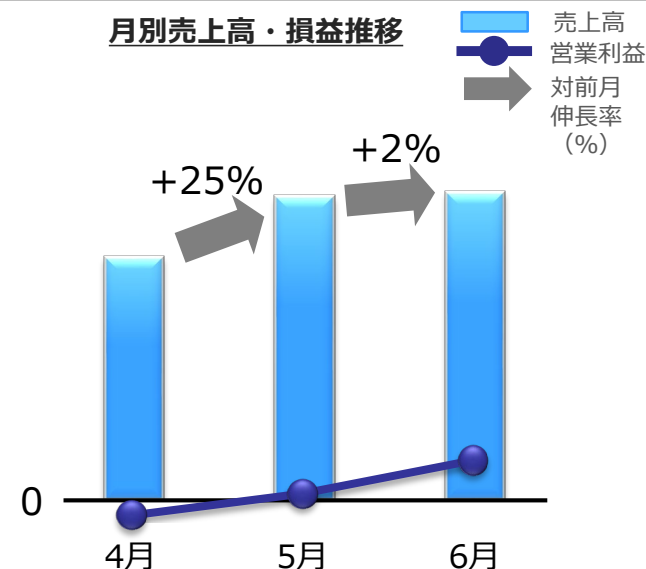
国内

国土強靱化政策に基づく公共工事に適用するi-Construction工事が拡大、それに適したタイムリーな新製品投入で堅調な販売を継続

その他地域

中国好調もインド・東南アジア・中東は販売低迷が継続

月別売上高・損益推移



(単位：百万円)

	FY2019	FY2020		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	%
売上高	10,321	6,343	△3,978	△39%
営業利益 (営業利益率)	114 (1.1%)	△1,904 (△30.0%)	△2,018	-
為替 換算レート (期中平均)	USD 110.00 円	107.74 円	△2.26 円	
	EUR 123.29 円	118.94 円	△4.35 円	

1Q業績要因分析

・全般

- 主力の欧米市場がロックダウンの影響で医療機関向けは営業活動を制限、眼鏡店は閉鎖、売上高は前年比39%減少
- ロックダウン解除後、売上・損益とも4月をボトムに回復傾向

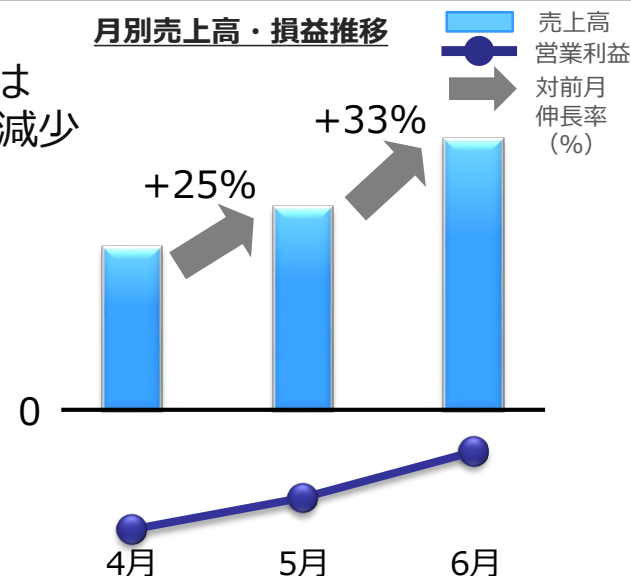
・欧米

経済活動再開やリモート検眼システムの需要増に伴い売上は緩やかに回復傾向

・中国

個人消費や設備投資が回復傾向にあり、新型コロナの影響から確実に脱しつつある状況

月別売上高・損益推移



Ⅱ. 2021年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2021年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 第三次中期経営計画への影響・ 事業別注力事項

通期業績見通し

世界各地で再拡大が続く新型コロナウイルスや米中対立の激化等により、先行き不透明感が増している。回復基調にある1Q実績と現状想定し得る短期予測をベースに、上期見通しは事業別に開示、不確定要素の多い通期見通しは、全社のみとする。

■ 当社事業に関する経済対策等

米国	施行済み経済対策に加え、 <u>インフラ投資1.5兆ドル</u> の新法案“Moving America Forward Act”が下院通過（2020年7月）
欧州	・ 新型コロナ復興基金<u>7,500億ユーロ</u>がEU合意（2020年7月） EU各国で、雇用、<u>医療</u>、企業支援等の対策進展に期待 ・ 英国版ニューディール戦略を発表（2020年6月） <u>50億ポンドのインフラ投資</u>（道路や学校、病院など）を加速
日本	・ 激甚化・頻発化する災害への対応として、<u>防災・減災、国土強靱化(事業規模7兆円)</u>の取組強化。（「骨太方針2020（2020年7月）」） ・ 新型コロナ感染対策として、省力化機械導入のための<u>「経営継続補助金」(予算規模200億円)</u>が適用（2020年6月） ・ 農地耕作条件改善事業(<u>予算規模250億円</u>)の一環として、農業の生産性向上のため<u>スマート農業導入を支援</u>（2020年7月）
中国	4-6月期は高速道路建設等への <u>インフラ投資</u> が急回復、経済対策全体の3割程度の <u>2兆元をインフラ投資</u> に拠出

■ 損益改善の施策

新型コロナ影響による売上減少見通し(前年比△8%)を踏まえコスト削減に注力

- ・ 固定費 **38億円 削減** (主に販管費、研究開発費)
- ・ 設備投資の抑制 (**前年比△40%**)

■ 資金調達力の強化

長期コロナとの共生を見据え、運転資金・成長資金確保のため資金調達力を増強

コミットメントライン	220億円から420億円へ倍増
コマーシャルペーパー	CP格付新規取得済み (R&I : a-1)
社債	200億円新規発行済み (6/24)

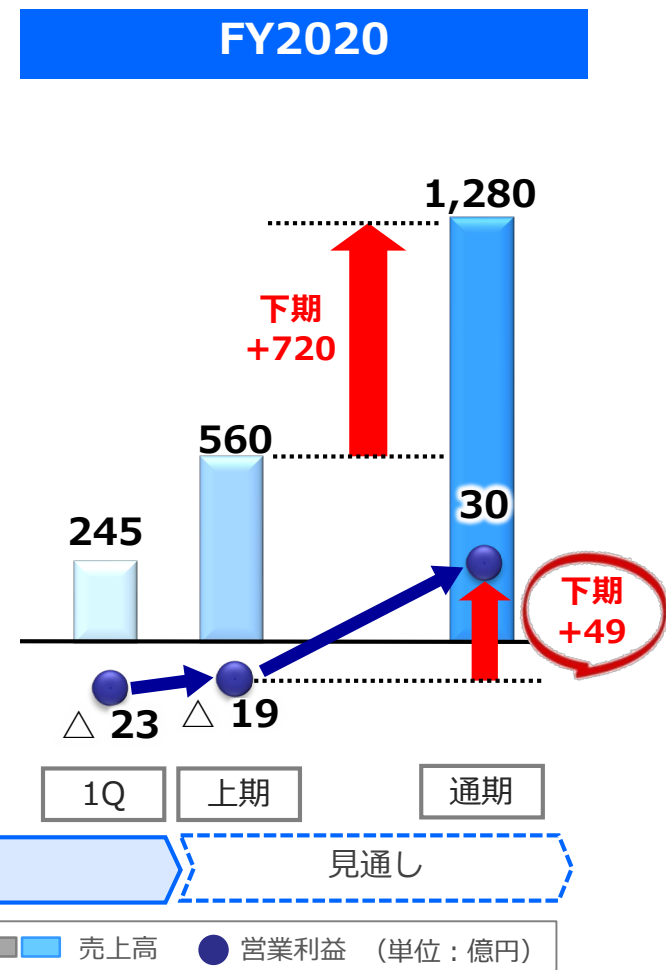
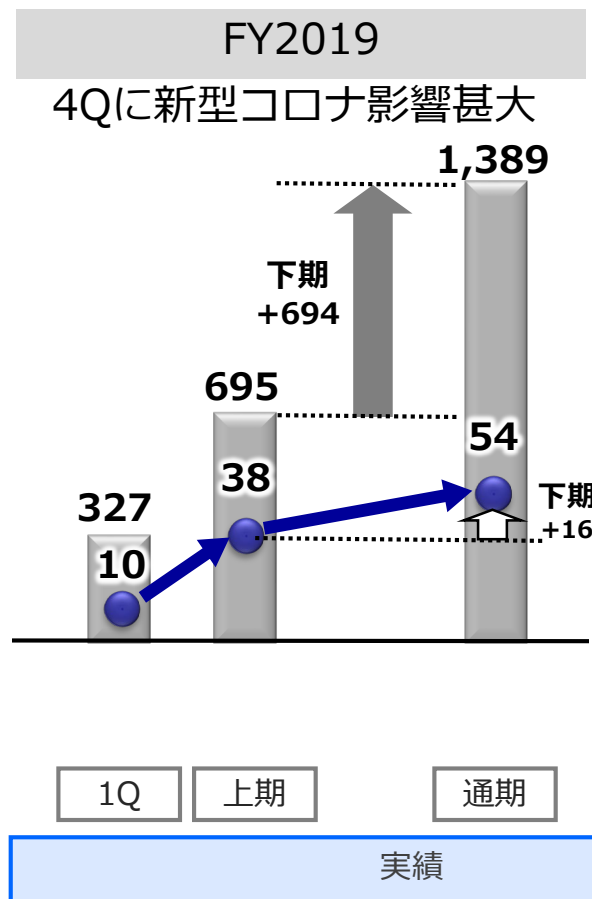
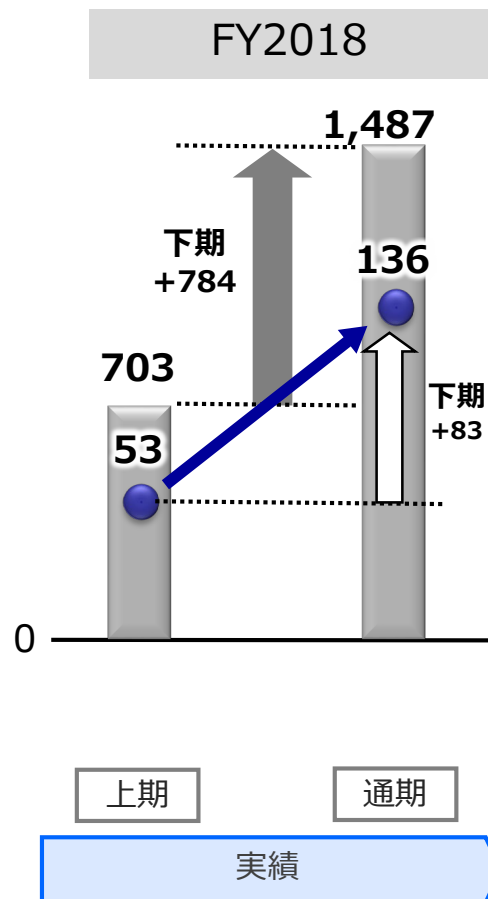
■ 為替前提

2Q以降 1ドル=105円・1ユーロ=123円

FY2020 通期見通し

- 上期：1Q（4～6月）月別実績の回復基調を踏まえ2Qは**黒字化**を見込む
- 通期：下期は回復基調の継続により**増収増益**を見込む

参考



FY2020 通期見通し

(単位：百万円)

	FY2019		FY2020				
	上期 実績	通期 実績	1Q 実績	上期 見通し	前年同期比 (%)	通期 見通し	前年度比 (%)
売上高	69,527	138,916	24,493	56,000	△19%	128,000	△8%
営業利益 (営業利益率)	3,810 (5.5%)	5,381 (3.9%)	△2,322 (△9.5%)	△1,900 (△3.4%)	-	3,000 (2.3%)	△44%
経常利益	2,761	2,895	△3,043	△3,100	-	1,000	△65%
純利益	895	935	△2,482	△2,600	-	0	-
R O E		1.4%				0%	
配当	14円	24円		-		5円	
配当性向		271%				-	
為替換算レート	USD	109.00円	109.10円	107.74円	※ 105円	※ 105円	
(期中平均)	EUR	121.43円	121.14円	118.94円	123円	123円	

※ 2Q以降前提レート

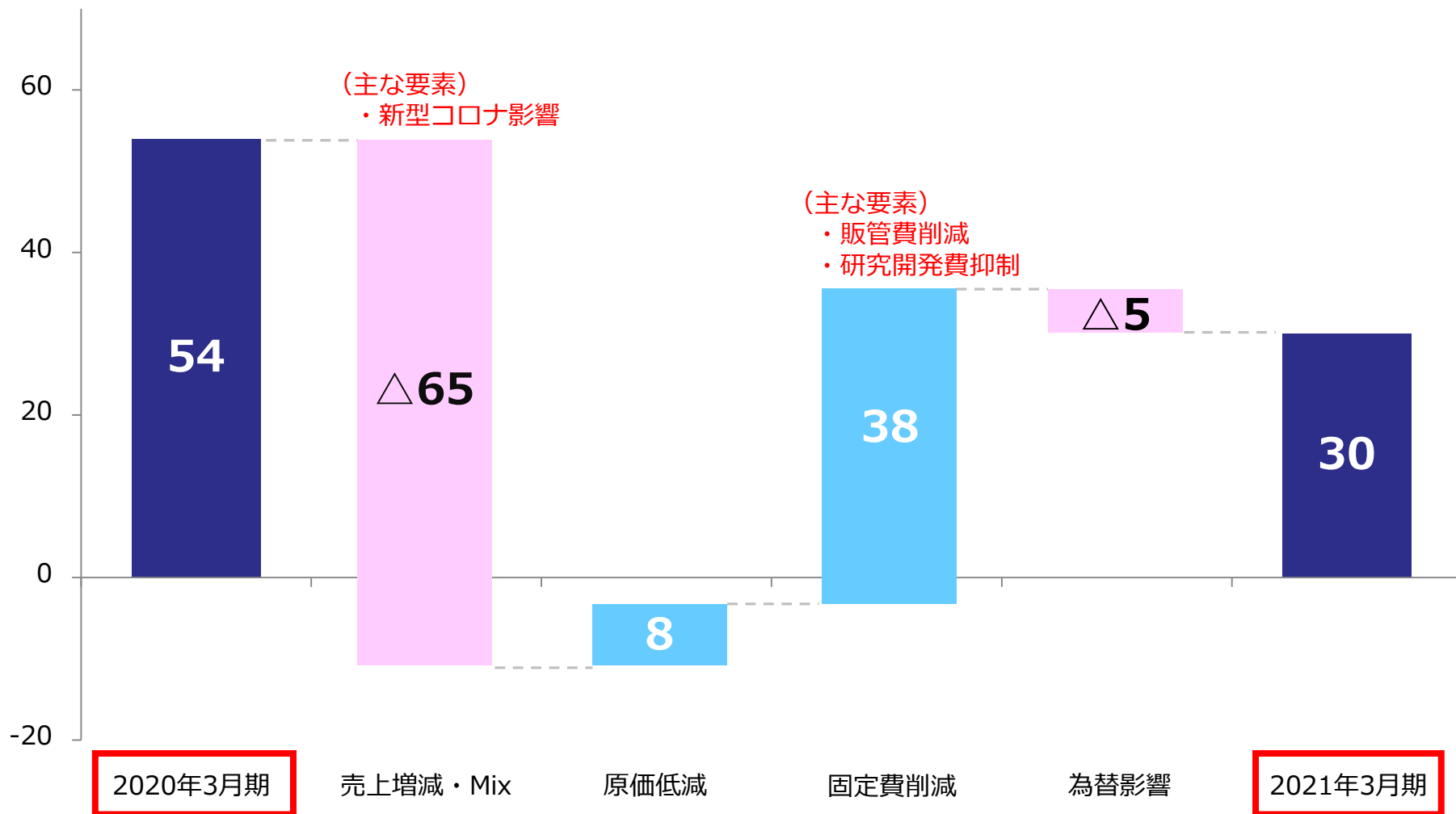
FY2020 通期見通し

(単位：百万円)

		FY2019		FY2020				
		上期 実績	通期 実績	1Q 実績	上期 見通し	前年同期比 (%)	通期 見通し	前年度比 (%)
売上高	ポジショニング	37,116	73,989	14,416	29,700	△21%		
	スマートインフラ	17,057	33,398	6,331	14,300	△16%		
	アイケア	22,202	44,758	6,343	17,000	△23%		
	その他	686	1,319	229	600	△13%		
	消去	△7,535	△14,549	△2,827	△5,600			
	合計	69,527	138,916	24,493	56,000	△19%	128,000	△8%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	2,850 (7.7%)	4,537 (6.1%)	553 (3.8%)	1,300 (4.4%)	△54%		
	スマートインフラ	2,492 (14.6%)	5,027 (15.1%)	235 (3.7%)	1,500 (10.5%)	△40%		
	アイケア	616 (2.8%)	136 (0.3%)	△1,904 (△30.0%)	△2,500 (△14.7%)	-		
	その他	△62 (△9.0%)	△144 (△10.9%)	△138 (△60.2%)	△200 (△33.3%)	-		
	調整	△2,086	△4,175	△1,069	△2,000			
	合計	3,810 (5.5%)	5,381 (3.9%)	△2,322 (△9.5%)	△1,900 (△3.4%)	-	3,000 (2.3%)	△44%

FY2020 増減益分析 (営業利益ベース:前年度比)

(単位: 億円)



Ⅱ. 2021年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2021年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 第三次中期経営計画への影響・ 事業別注力事項

■ 第三次中期経営計画 (2019年度－2021年度)

経営
ビジョン

医・食・住の成長市場において
社会的課題を解決し事業を拡大する

- ・ 時間軸への影響は不可避もビジョンは不変
- ・ 成長シナリオに追い風

新キーワード

ソーシャル
ディスタンス対応

Essential
Business

経済復興

■ 社会的課題は不変、中期成長シナリオに追い風



- **Essential Business(必須事業)**として新型コロナのインパクトは限定的
- **経済復興**に不可欠なインフラ投資増加
➡ 深刻な労働力不足 ➡ 自動化に追い風



- **Essential Business**としての堅確なニーズ
- 移動制限による労働力不足は自動化に追い風



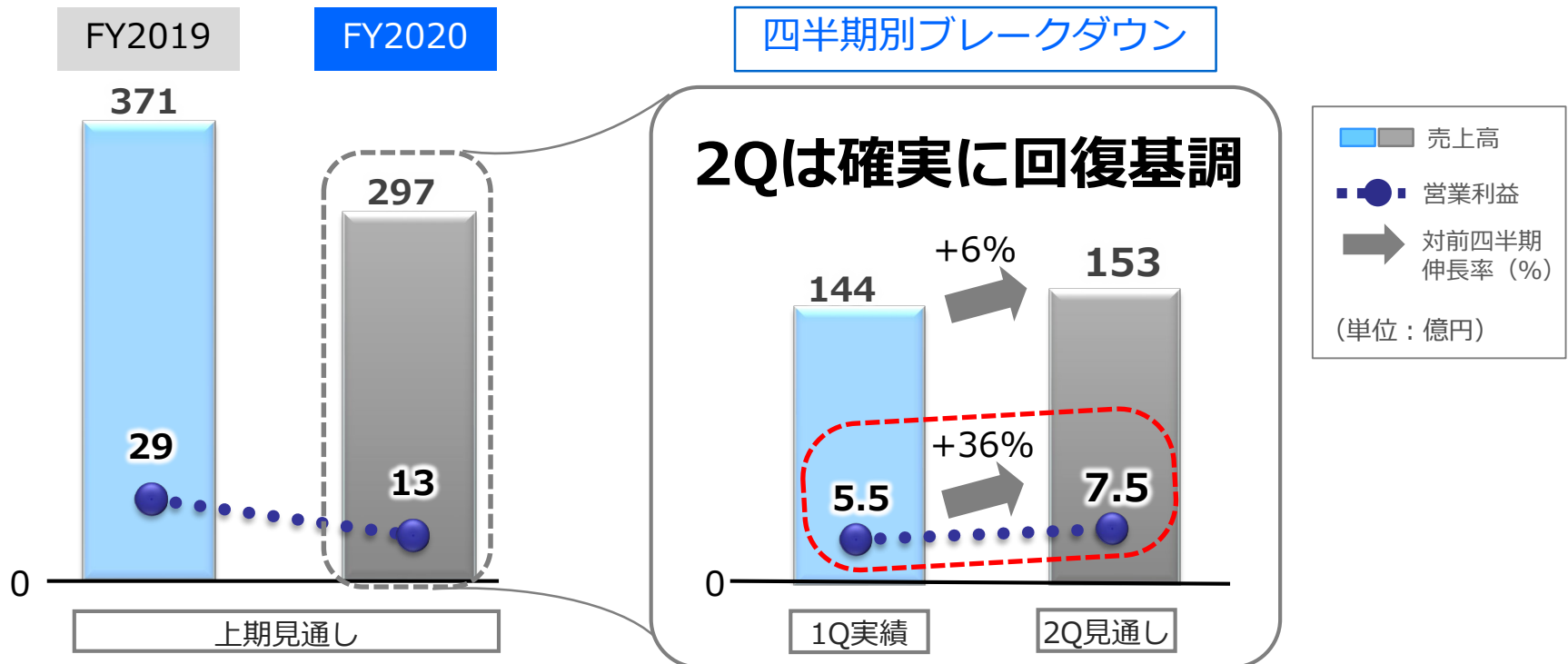
- 短期的には甚大な影響も眼疾患の増加は不変
- **ソーシャルディスタンス対応**の新ニーズに
当社リモート検眼機能が完全に合致

■ Essential Businessとしての堅確な需要

-マクロ市況は好転の兆し

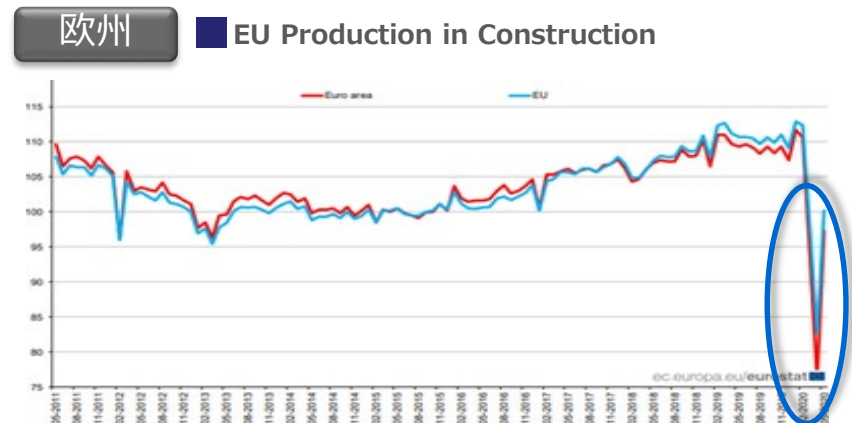
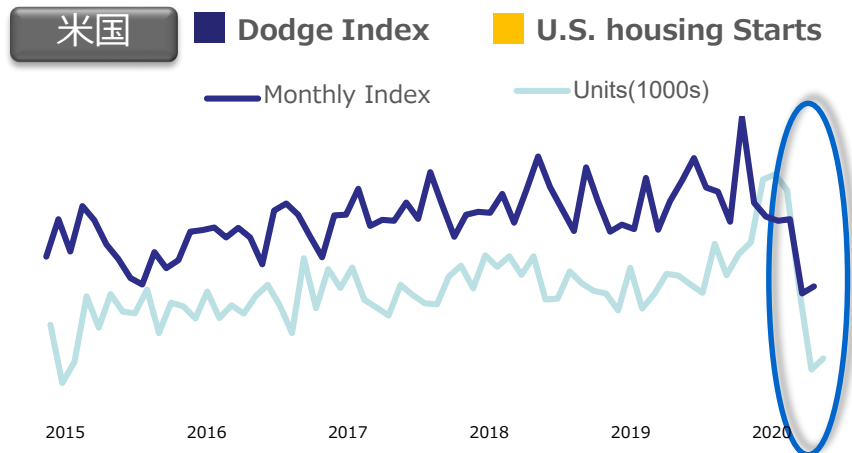
■ 経済復興のためのインフラ投資増を新たな商機に

-ICT自動化施工 新規需要の積極的な取り込み

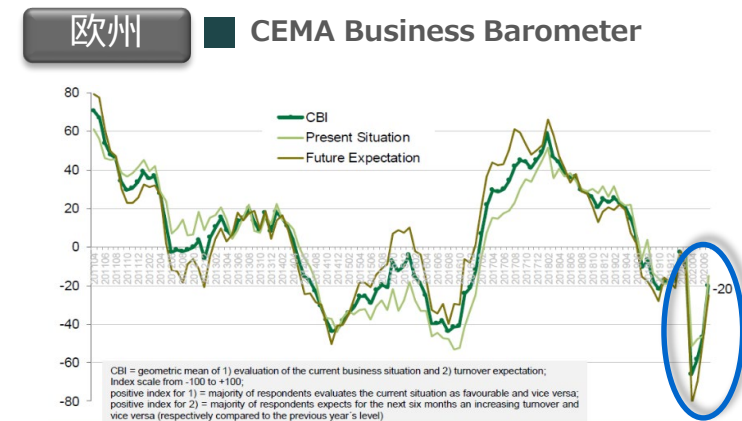
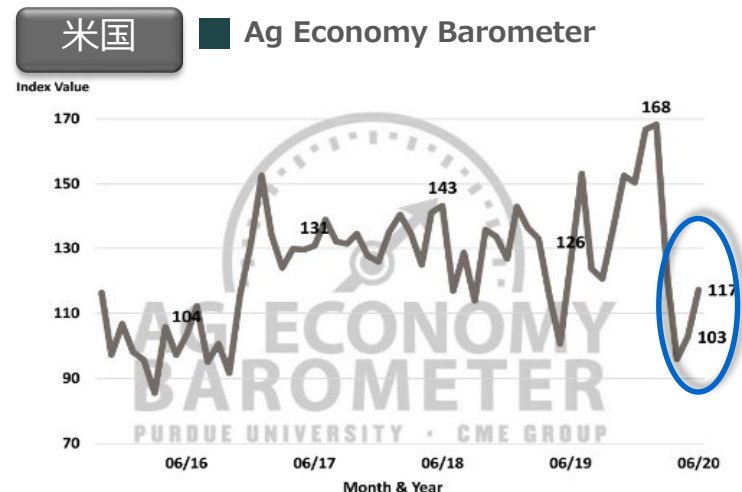


■ 新型コロナの影響は4月をボトムに反転、今後の回復ペースを注視

建設市場



農業市場



■ ICT自動化施工 新規需要の積極的な取り込み

米国インフラ投資施策

Moving America Forward Act

(予算規模：総額1.5兆ドル)

MOVING AMERICA
FORWARD



道路・橋などのインフラ整備に
3,000億ドル



ICT自動化施工の導入により
生産性向上と省力化を実現



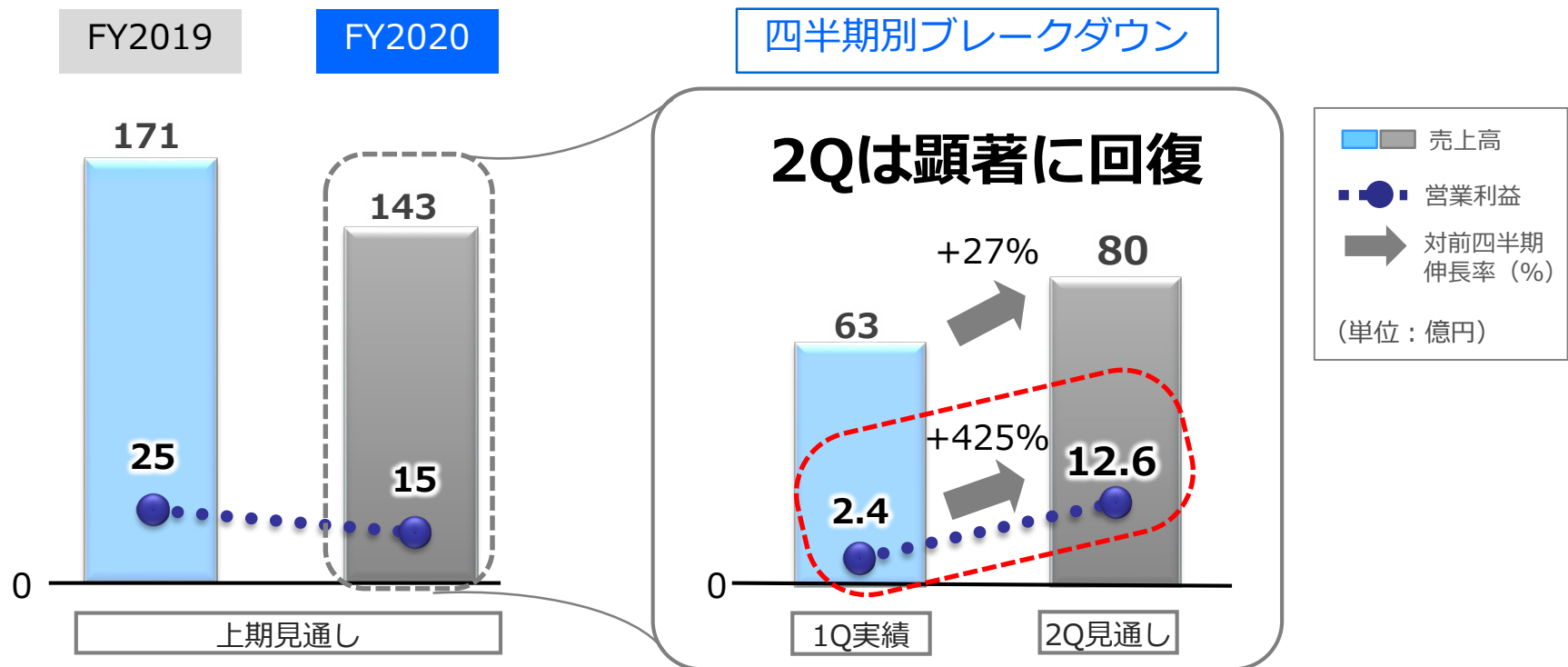
道路工事現場におけるICT活用事例

国内インフラ需要の積極的な取り込み

-国土強靱化計画、i-Construction適用工事増加が追い風

国内IT農業 自動操舵システムの普及を国が後押し

-経営継続補助金、農地耕作条件改善事業



■ 国土強靱化計画、i-Construction適用工事増加が追い風

- － 緊急事態宣言で先送りされた需要の確実な取り組み
- － 技術者不足を補うICT化(i-Construction)の加速

国土強靱化計画

✓ 事業規模は3年間で約7兆円
(2018年12月14日閣議決定)

国土強靱化計画 年次計画2020

堤防整備/強化や河道掘削、ダム、大規模地下貯留施設整備、重要なインフラ施設等を保全する土砂災害対策等

➡ 国内インフラ市場拡大に追い風



堤防強化・河道掘削



道路法面強化等の緊急対策

出典：国土交通省

マーケット動向

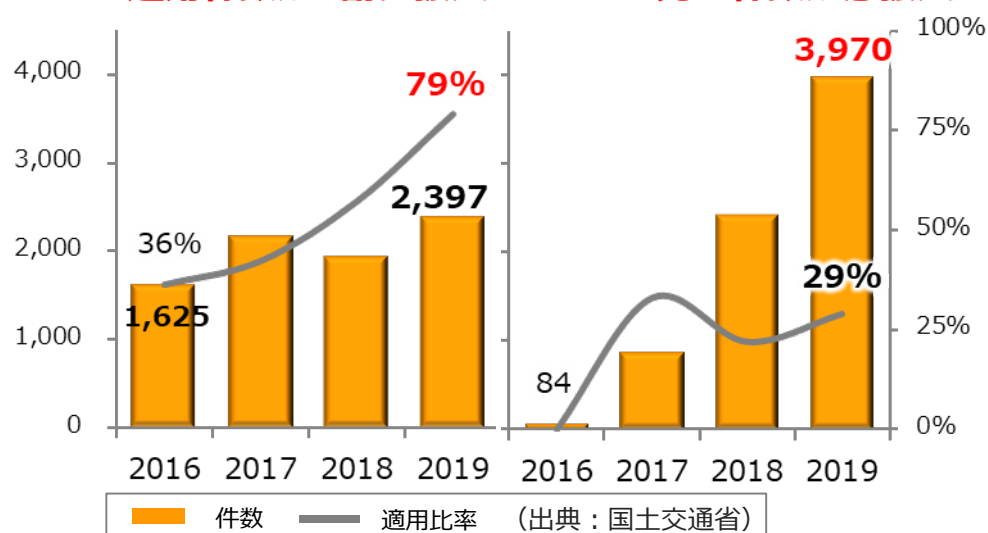
i-Construction発注件数/適用比率

国直轄

i-Con適用件数が8割に拡大

地方自治体

i-Con発注件数が急拡大



農林水産省 スマート農業導入推進施策

- 経営継続補助金：200億円
新型コロナウイルス感染対策
接触機会を減らす省力化機械の
導入を後押し

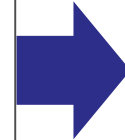
出典：農林水産省ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/keizoku.html>

- 農地耕作条件改善事業：250億円
農家の生産性向上のため導入後押し

出典：農林水産省ホームページ

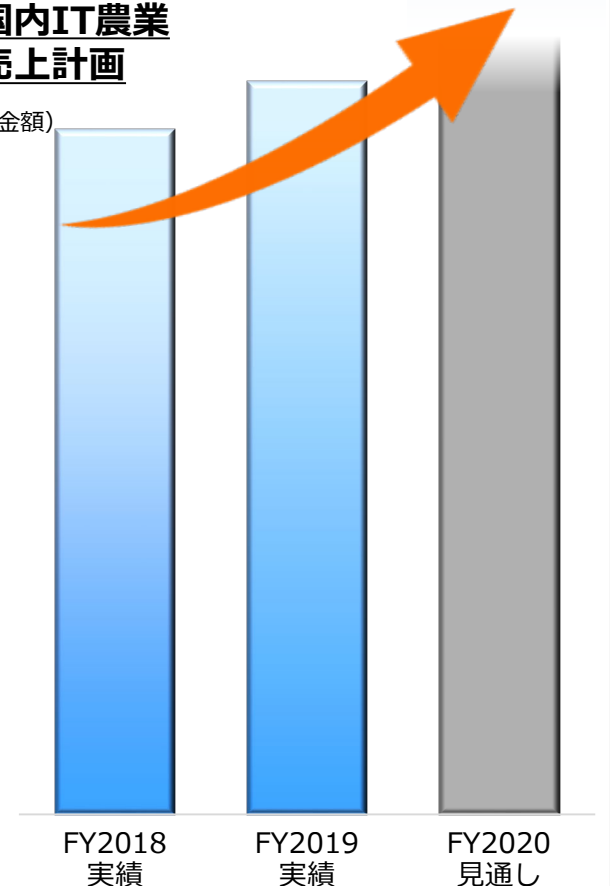
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/komeko/attach/pdf/index-141.pdf>



引き続き国内IT農業市場は拡大
導入推進の波を積極的に取り込む

国内IT農業 売上計画

(金額)



■ リモート検眼機器をグローバルで拡販

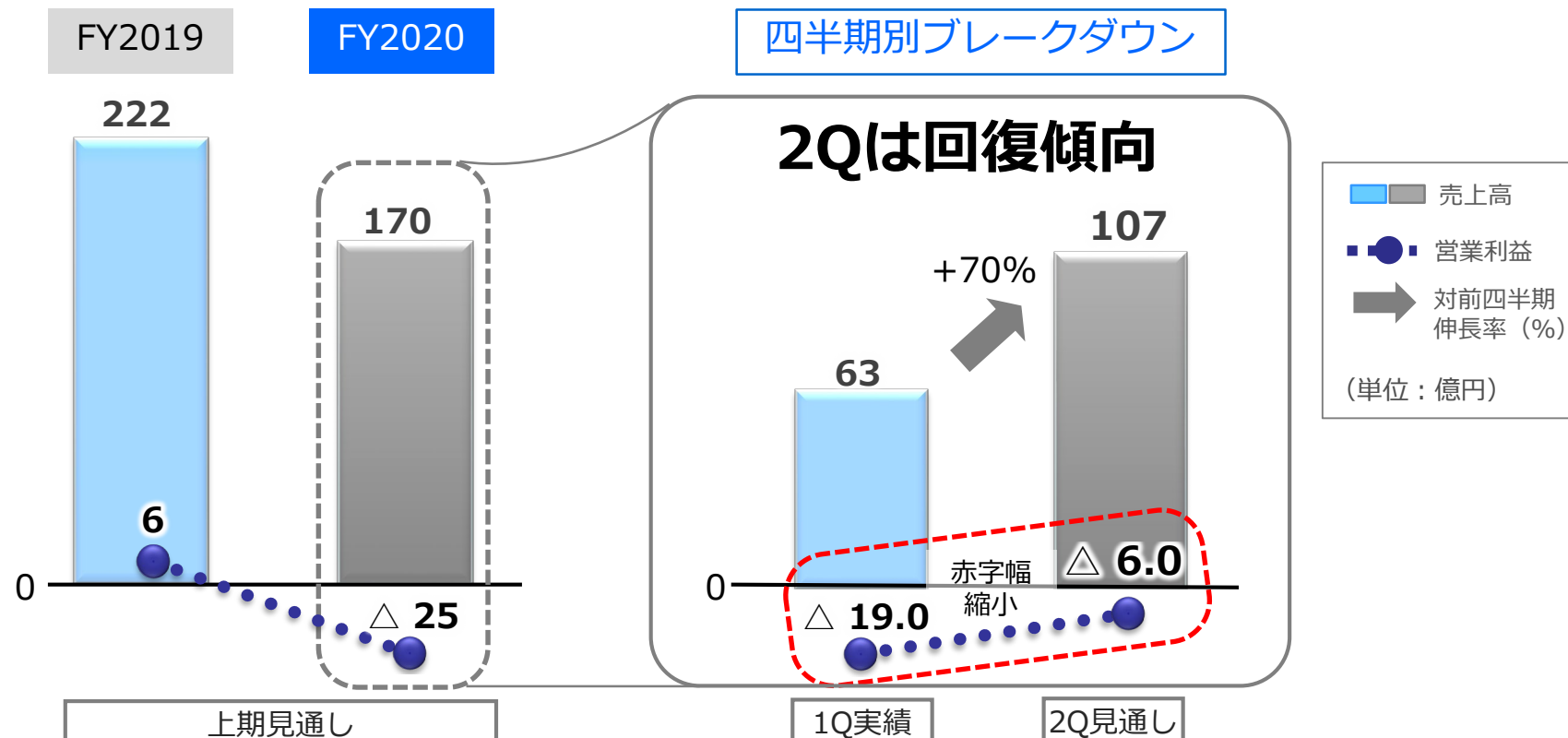
-ソーシャルディスタンス対応でリモート検眼ニーズが急浮上

■ 中国ビジネスの急回復

-いち早く市場正常化が進む中国で販売強化

■ スクリーニングビジネス

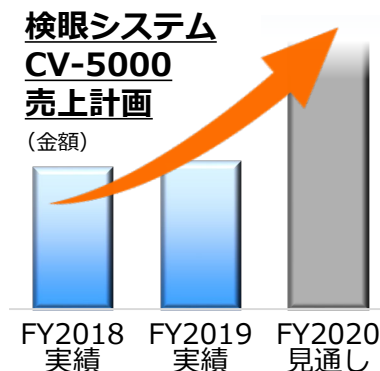
-2Q以降回復基調継続により主力市場(欧米)の回復を期待



リモート検眼機器をグローバルで拡販

アイケア

- ソーシャルディスタンス対応で
リモート検眼ニーズが急浮上
→ 新ニーズに当社クラウドソリューション
が完全に合致



従来の様式

対面検眼

患者と対面式
近距離検査

眼鏡店等



C



ニューノーマル（新常態）

リモート検眼

リモート検眼



タブレットでシステムをリモート操作

ニーズ
急浮上

トプコンの
ソリューションで実現！

デジタル技術

+

検眼システム



CV-5000

・様々なレンズの入れ
替えを電子制御し眼鏡
の最適度数を決定する
検眼システム

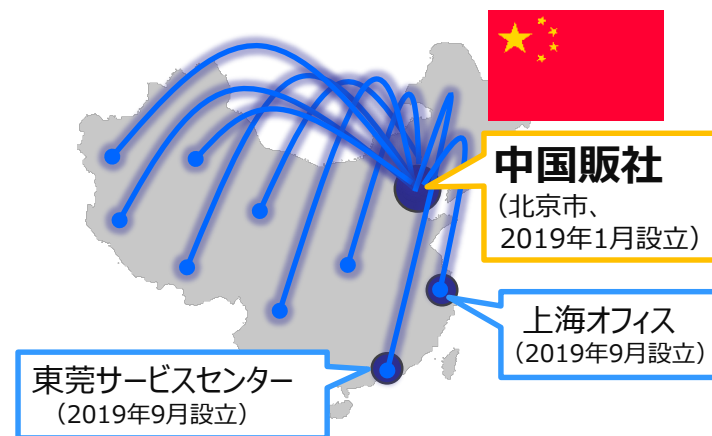
いち早く市場正常化が進む中国で販売強化

■ 販売網再編

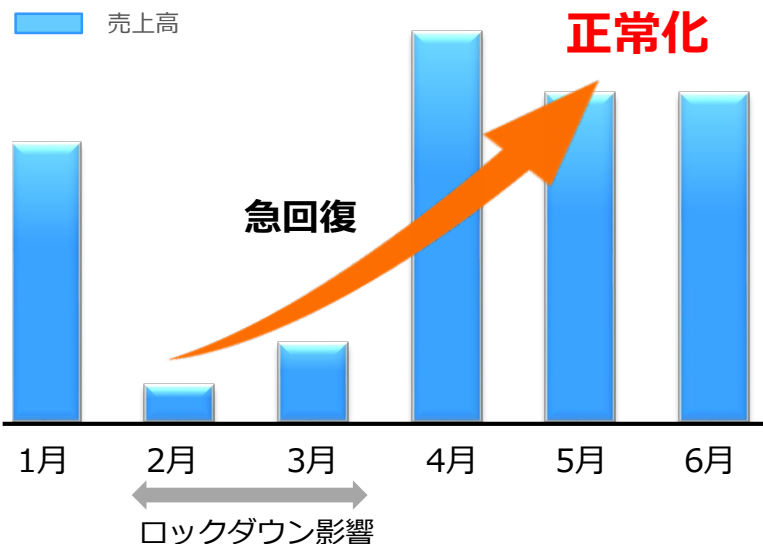
- ・ 2019年より進めてきた販売網再編が完了（6月末）
- ・ 複数代理店制とキーアカウントをターゲットとした直販のハイブリッド販売体制で公立病院、私立病院チェーン、大手検診チェーン、眼鏡店を攻略



**ロックダウン解除後、市場は急回復
販売体制強化との相乗効果で更なる
売上伸長を目指す**



中国向け売上高推移



Ⅲ. トピック

稲葉 善治



稲葉氏プロフィール

ファナック(株)代表取締役会長
工学博士
日本工作機械工業会副会長
日本ロボット工業会副会長

ファナック株式会社

年商 5,083億円 (2019年度実績)
時価総額 3.7兆円 (6月末時点)
東京証券一部上場

FA & ROBOT & ROBOMACHINE
FANUC



超精密加工機 (CNC)



ロボット

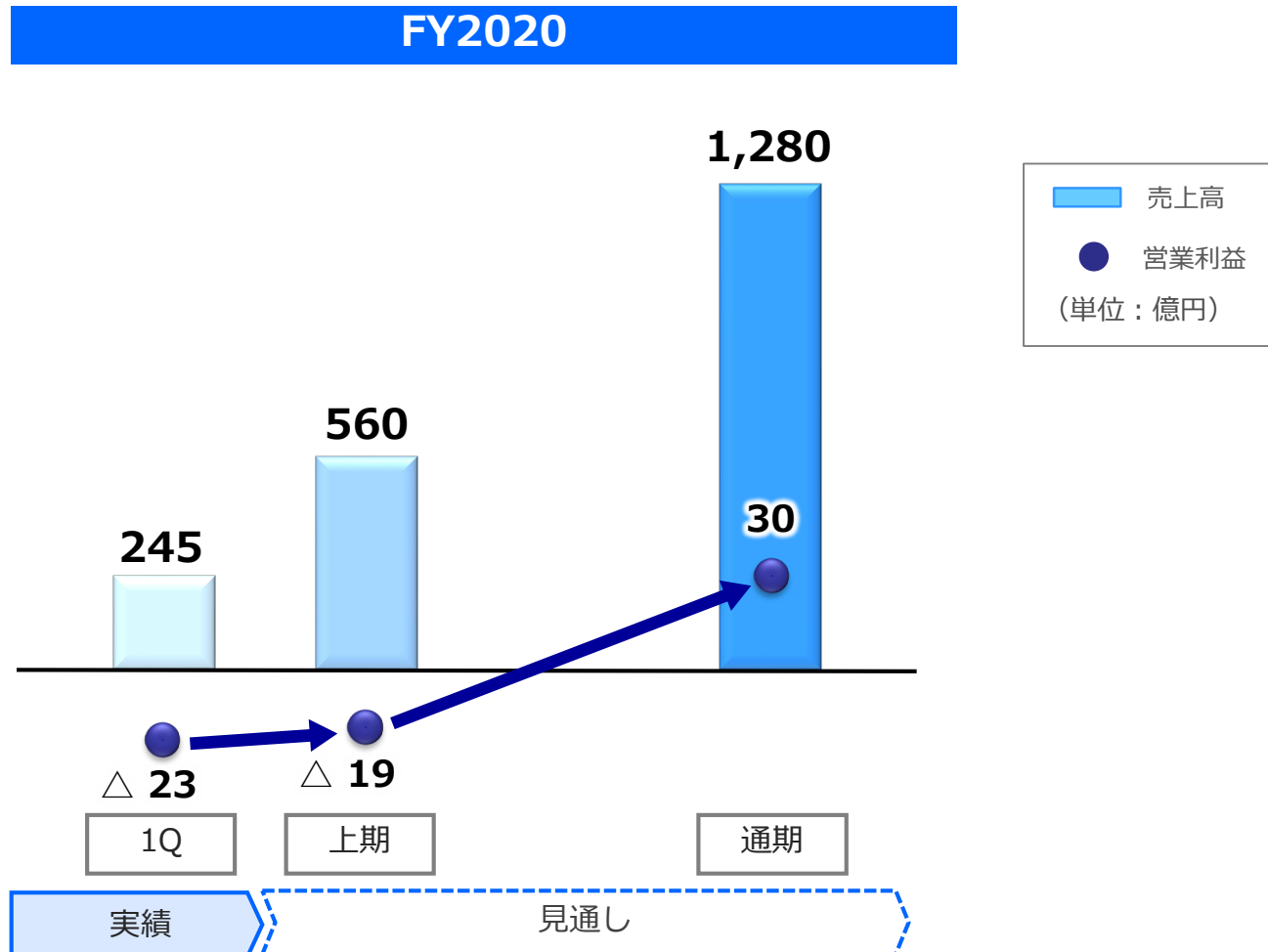
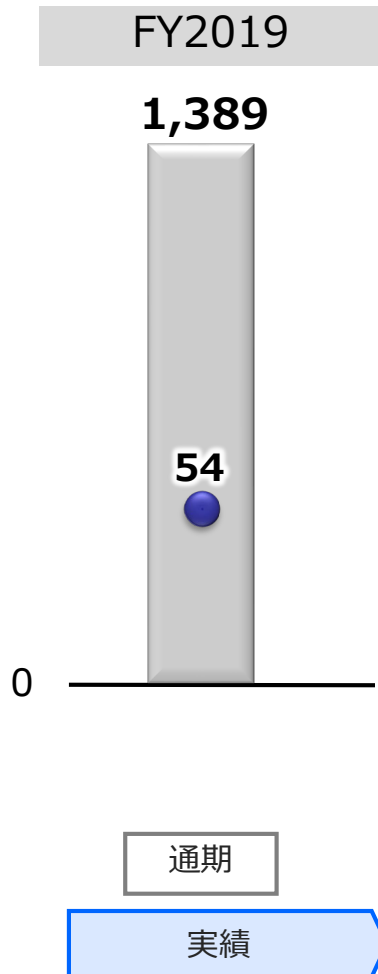
ファナック株式会社は工作機械用CNC装置(工作機械の自動化)の先駆者。
FA革命のパイオニアで世界首位、国内外とも50%以上の高シェア企業。

トプコンの期待

当社は建設機械の自動化装置(CNC)の先駆者。
建設工事と農業の自動化を事業推進する上で、稲葉新社外取締役の知見
と経験に基づく的確な助言を期待。

IV. まとめ

- 1Qの回復基調を踏まえ2Qは**黒字化**、下期は回復基調の継続により**増収増益**を見込む



【TOPCON WAY】

トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

住

Infrastructure

医

Healthcare

食

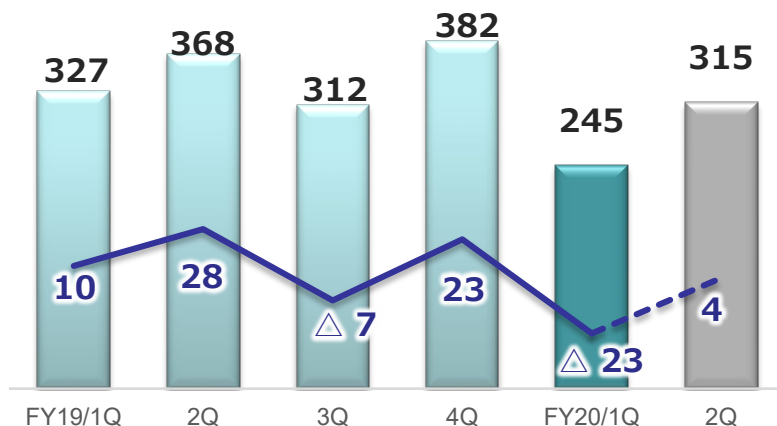
Agriculture

V. 参考資料

四半期別業績推移・見通し

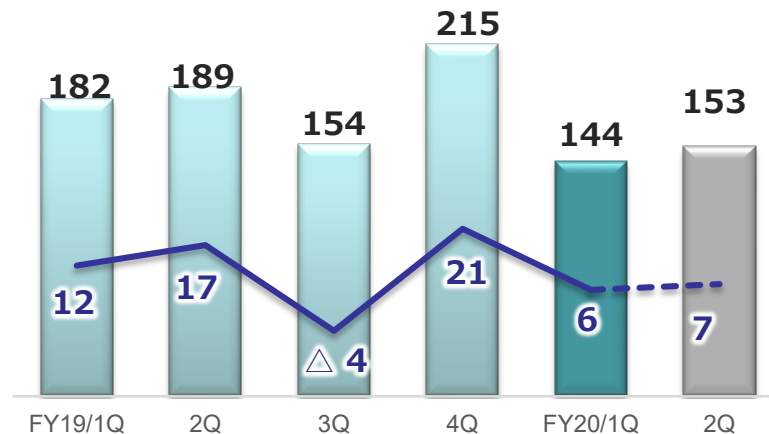
■ 全社

売上高 営業利益 (単位：億円)



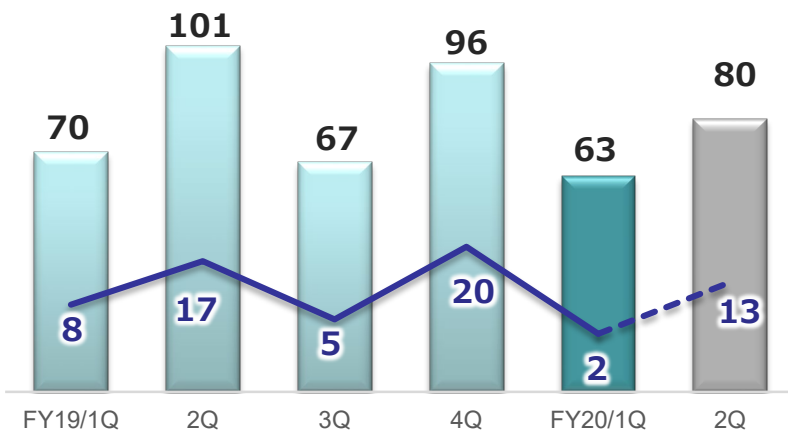
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位：億円)



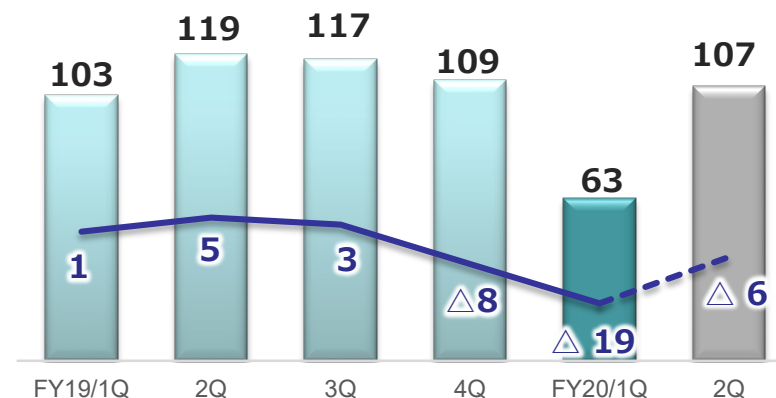
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)



■ アイケア・ビジネス

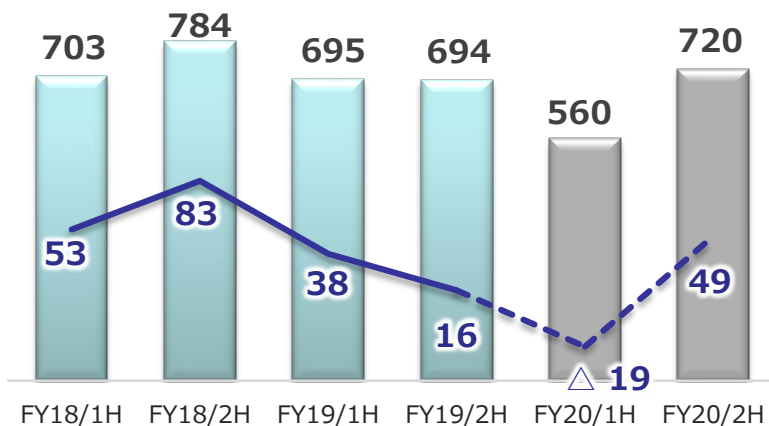
売上高 営業利益 (単位：億円)



半期別業績推移・見通し

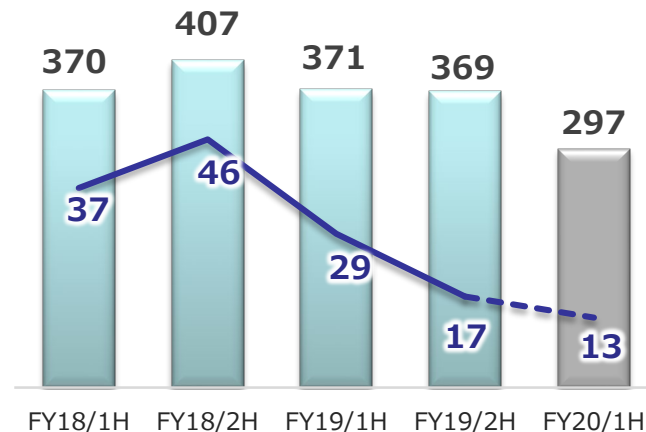
■ 全社

売上高 営業利益 (単位：億円)



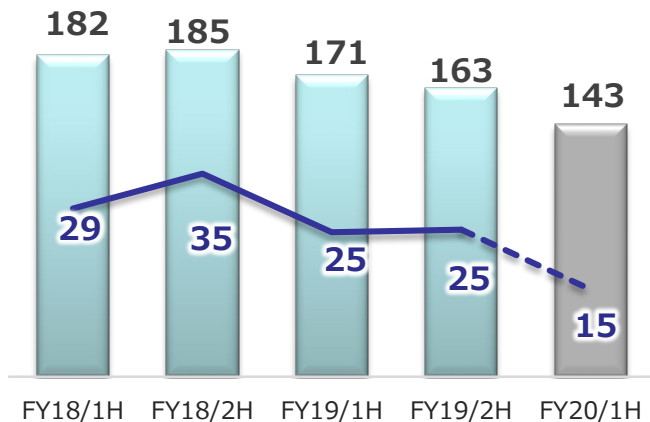
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位：億円)



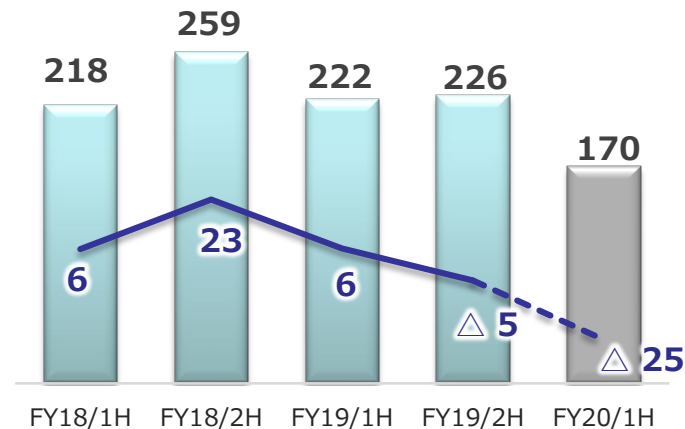
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)



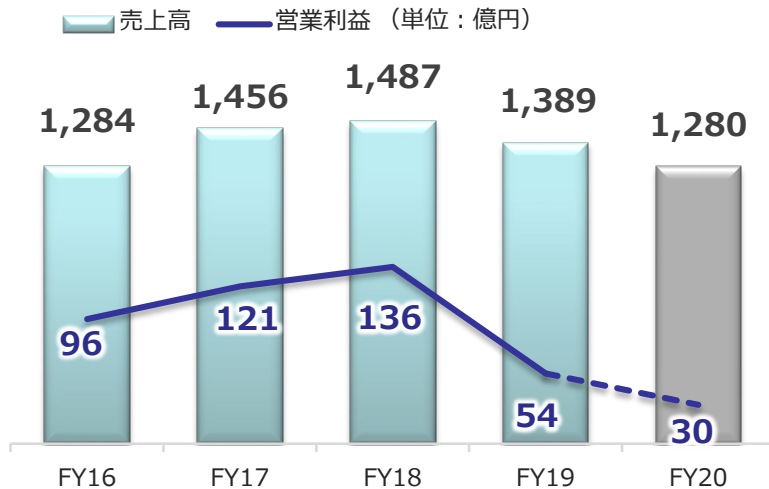
■ アイケア・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)

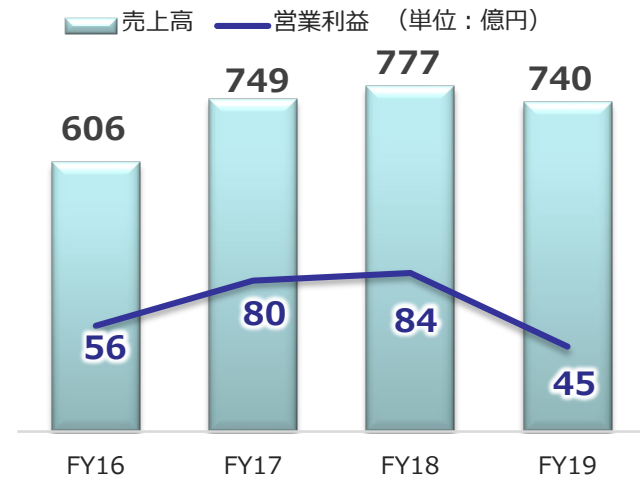


年間業績推移・見通し

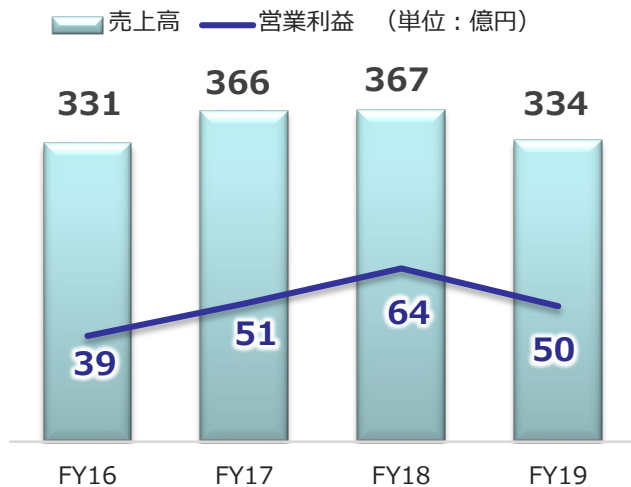
■ 全社



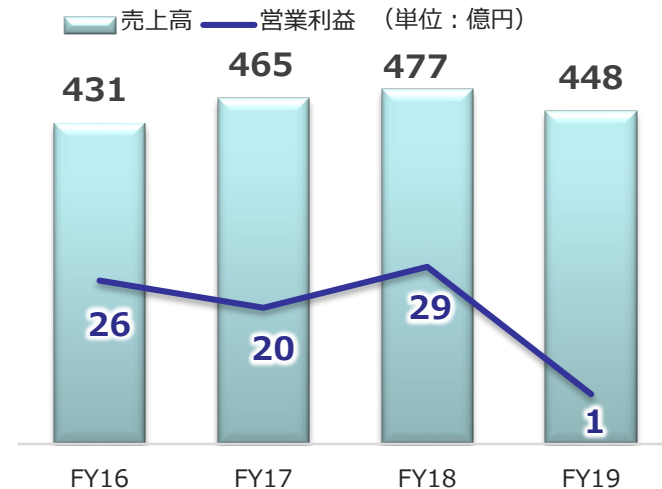
■ ポジショニング・カンパニー



■ スマートインフラ・ビジネス

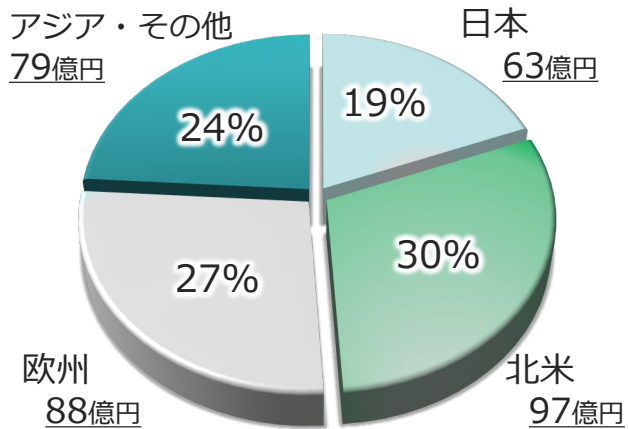


■ アイケア・ビジネス



FY2019/1Q

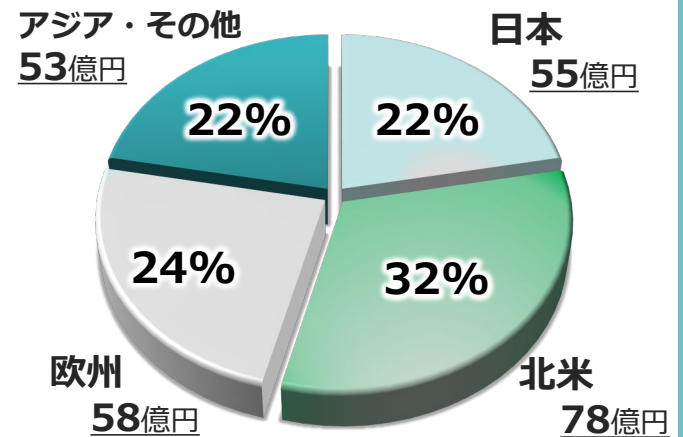
327億円



前年同期比
△25%

FY2020/1Q

245億円

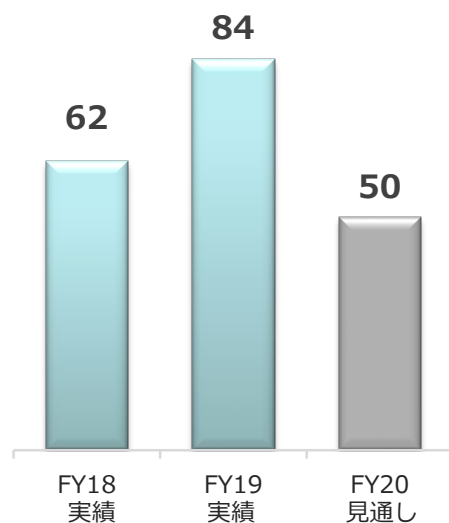


FY2020 設備投資および研究開発費 / 為替感応度

■ 投資額・費用見通し

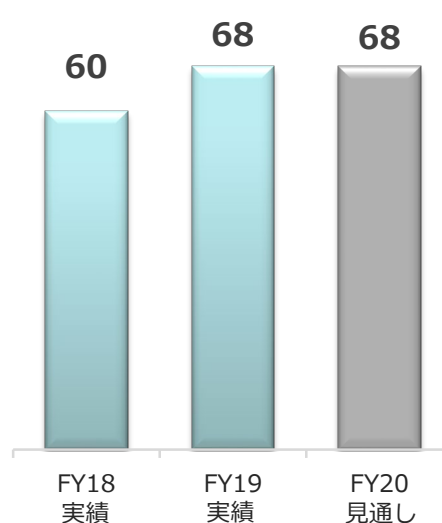
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費*

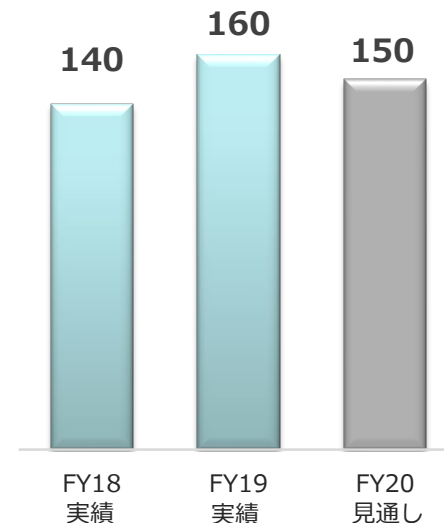
(単位：億円)



*のれん償却費を除く

研究開発費

(単位：億円)



■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>